

2026年1月9日現在

色麻町議会 議長 天野秀実

議会広報委員会 委員長 西村義隆

令和8年1月会議 6日に開催

◎令和8年の会期決定：令和8年1月6日から12月28日までの357日間

◎全会一致で可決 天野議長に3回目は議長辞職勧告（過去2回は議長不信任）

1月6日10時より開会された会議で、会期の決定・会議日程の決定後に「天野秀実議長に対する議長辞職勧告」の動議が提出され、白井副議長が議長役になり採決した結果、議員11名の賛成で可決した。

その後、天野議長が議事を進行したため議員全員が退出し、議案審議は行われず延会となった。

午後1時30分に議員12名は役場庁舎で記者会見を開いた。

記者会見で発表した全文の内容は次頁に掲載しています。

◎天野秀実議長に対する議長辞職勧告決議(案)

本町議会は、去る令和7年9月17日及び12月2日、天野秀実議長に対し、全会一致をもって不信任決議を可決した。

不信任決議は、議会の最高責任者である議長に対する議会の総意としての信任を完全に喪失したことを見わめて重い意思表示である。地方自治の二元代表制の一翼を担う議会において、議員全員との信頼関係を失った天野秀実議長がその職に留まることは議会の円滑な運営を妨げるのみならず、町政の重大な停滞を招く事態と言わざるを得ない。

しかるに、天野秀実議長は不信任案可決後も自らの非を認めることなく、議長職に固執し続けている。さらに、議会に対し「公開質問状」を提出し、自身の説明責任を果たすことなく議会への責任転嫁を図るなど、議会の秩序をさらに混乱させる行為に及んでいる。この結果、議員による本会議のボイコットという異常事態を招き、町民の負託に応えるべき審議の場が機能不全に陥っている。

特に、間近に控えた人事院勧告、条例の改正等更に次年度予算審議は、町民生活に直結する極めて重要な職務である。この重大な時期を前に天野秀実議長自らが混乱の元凶となり、議会正常化への道を閉ざしている現状は、公人としての自覚を著しく欠くものであり、断じて容認できるものではない。

議会は、町民の不利益を最小限に食い止めるべく、苦渋の決断として正常な実務への復帰を模索しているが、混乱の根本的な解決には、天野秀実議長自らが政治的責任を取り、速やかにその職を辞すること以外に道はない。

よって、色麻町議会は天野秀実議長に対し、議会の権威と秩序を回復し、町政の停滞を回避するため、令和8年1月14日までに公人としての英断を下し、直ちに議長職を辞することを強く勧告するものである。

令和8年1月6日 色麻町議会

公開質問状

議会に対する天野議長の公開質問状（令和7年11月28日付）について、12月25日に回答書を送付した。

町民の皆様への重大なお知らせとお願ひ

町民の皆様、本日、我々色麻町議会は、天野秀実議長に対し改めて政治的決断を促す「議長辞職勧告決議」を可決いたしました。

まず初めに、昨年来より続く議会の混乱及び議員によるボイコットにより、本会議の欠席という異常事態により、町民の皆様に多大なるご心配とご不安をおかけしておりますことと、議員一同、心より深くお詫び申し上げます。

我々が本日、辞職の期日を定めた勧告という重い決断に至った理由は、ただ一つ「色麻町の未来と、町民の皆様の暮らしを守るため」です。

昨年9月の不信任決議可決後、議会は対話による解決を模索してまいりました。しかし、天野議長は自らへの疑惑に対する説明責任を果たす代わりに、議会を提訴するかのような姿勢や、一方的な「公開質問状」による責任転嫁を繰り返し、議会との信頼関係は完全に崩壊いたしました。

信頼を失った議長の下では、町政の重要事項を決定する「議会」としての機能は果たせません。このままでは、間近に迫った「令和8年度当初予算」の審議すら、正常に行えない恐れがあります。

本日、我々が議場に戻ったのは、議長を認めたからではありません。これ以上の町政の停滞は、町民の皆様に対する最大の背信行為になると判断したからです。

我々は、不信任の意思に一点の疑惑のないことを議事録に刻んだ上で、予算審議や通年議会の会期決定といった、町政を動かすための「最低限の実務」を遂行する道を選びました。

我々は、天野議長に対し、令和8年1月14日までの辞職を強く求めます。これが聞き入れられない場合、我々議会に残された手法としては議長への懲罰か議員自らけじめとして現状をリセットする「議会解散」か、二つにひとつしかありません。

我々議員もまた、この混乱を収束させられなかった責任を痛感しております。もし、この期日までに正常化が図られないのであれば、潔く町民の皆様の審判を仰ぎ、新しい議会に色麻町の未来を託す覚悟です。

色麻町の誇りある地方自治を守るために、そして停滞した町政を一刻も早く正常に戻すために、我々は最後まで不退転の決意で望みます。町民の皆様におかれましては、現在の議会が置かれている極限の状況と、我々の苦渋の決断をご理解いただき、今後の推移を厳しく注視して頂ますよう、伏してお願ひ申し上げます。

令和8年1月6日

色麻町議会議員一同